



ひろげよう! まちづくりの輪 ~手と手をつなぐ大家族リレー~



市民予算枠事業(地域内分権推進型)交付金を活用して、各地域のまちづくりに取り組んでいる団体の皆さんを紹介します。

港小学区 おやじの会さんからバトンタッチ!

人形小路の会

◆「人形小路の会」設立のきっかけを教えてください。

県無形文化財指定の「吉浜細工人形」。毎年5月に開催される「花の塔」の奉納展覧として新作が製作されるものの、会期が終わると解体されていました。そこで、当時の吉浜細工人形保存会会長を中心に、準備委員会を立ちあげ、会期後もまちなかに展覧し、多くの方に観ていただけるようにと、現在の「人形小路」沿線で借地・借家などを確保し、舞台を設置しました。

同時に、年々空き店舗が増えていた商店街の賑わいをとり戻し、まちの活性化につなげていきたいと、地域住民や商店事業者らを中心に、「人形」をキーにまちづくりに取り組む本会が平成18年に発足しました。

◆どんな活動をされているのですか?

「細工人形・菊人形の伝統文化の発展と継承」については、細工人形保存会や吉浜まち協と連携しながら、「花まつり」や「菊まつり」などの四季折々のイベントや常設の人形展覧などを通じて、地域の魅力を発信することで、住民の地域に対する誇りや愛着を高めています。

また、「まちの賑わいや地域の商業振興」については、「人形小路」を市内外へ積極的にPRし、地域への集客力向上や交流人口の増加を図ることで、来訪者が商店へつながることを期待しています。各商店からも会員となっただけたり、イベントの際には商品券の利用などに協力いただくなど、地域全体でまちの活性化に取り組んでいます。

◆活動を進めてきて、まちがどのように変わってきたと感じていますか?

「人形小路」は、高齢社会のなかにおいても、いつまでも住み慣れた「我がまち」で健康に楽しく暮らせるよう、安全・安心して外出できるための道しるべや休憩スペース、歩いて楽しむ工夫が随所に見られます。

これまでの私たちの活動や平成22年にオープンした吉浜まち協による「サロン ぼっぼ」の集客も相まって、特に土日を中心に人形小路を散策する人々が増えてきており、とても嬉しく思っています。

◆今、課題だと感じていることや、今後の夢を教えてください。

発足後8年が経過し、人形小路のハード整備も完了しました。今後は、これまで整備された人形舞台や路を活用したソフト活動をより一層活発に行うためにも、より多くの地域住民や小路沿線の商店などの理解・協力が必要です。私たちといっしょにまちを盛りあげてくれる仲間を増やしていきたいと思っています。

また、「歩こまい人形小路」を合言葉に、気楽に散策でき、何度も訪れたいくなる路にして、まちなかが、商店が、来訪者で賑わう風景を夢見ています。



▲菊まつり 山車行列



▲花まつり 白象と金管バンドのパレード



▲菊人形展示



▲地域の住民でもち花づくり

市民予算枠事業って何? ② どうして「市民予算枠事業」という仕組みをつくったの?



- ❖ 地域の「いいところ」や「心配なところ」は、地域によってさまざま、そこに住む市民の皆さんが一番よく知っています。
- ❖ 市民の皆さんからの税金を地域でより有効に役立てていただくため、市民目線のアイデアを活かして、地域の特徴をふまえ、一番ふさわしい方法で課題の解決や、魅力のアップにつなげることで、みんなで力を合わせて、よりよい「まちづくり」ができます。